



# 子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2016年12月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081  
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、  
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



岩手県山田町の苗畑に、地元の保育園職員によって  
鹿対策用の案山子が立てられました。

2016年が間もなく終わります。

今年も1年間、皆様と共に様々な活動に取り組み大きな成果を得ることができました。

来年も、よろしく願い申し上げます。どうぞ、良いお年をお迎えください。

## (目次)

1. 2016年の活動をふり返って
2. 事務局からのお知らせ
  - 新・どんぐり博士の育苗講座 (2016年12月号)

### ■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

### ■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

NPO法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人自然体験活動推進協議会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



## 1. 2016年の活動をふり返って

2016年、今年も大きく展開したJP子どもの森づくり運動の主な活動をふり返りました。

## 1) JP子どもの森づくり運動のネットワークが広がりました。

JP子どもの森づくり運動の活動には、2016年11月現在、115園の保育園、幼稚園、こども園にご参加いただいています。

約6000人の園児さんが、“どんぐり”の森を作る活動に参加していることとなります。

今年も、“どんぐり”がつなぐネットワークは、着実に広がりました。



## 2) JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」が展開しました。

## ●岩手県山田町「新生やまだ商店街」記念植樹が行われました。

2016年5月22日「グリーンウェイブ」の日に、全国から届けられた東北の“どんぐり”の苗木の一部が、「新生やまだ商店街」に記念植樹されました。植えられた苗木は、地域の人たちによって見守られていきます。「新生やまだ商店街」は、山田町の復興のターミナルとして開設されました。今回の記念植樹によって、全国の子どもたちと、地元山田町の人たちの復興の願いが、“どんぐり”の苗木によってつながります。



## ●岩手県「山田町」での、子どもの森づくりが始まります。

「東北復興グリーンウェイブ」の活動で、全国の保育園、幼稚園、こども園から届けられた東北の“どんぐり”の苗木が、今年も、岩手県山田町豊間根地区の苗畑に植えられました。苗畑に植えられた苗木は、いよいよ来年から山田町の森に植え替えられ、具体的に復興に役立つ「山田町子どもの森」の森づくりが始まります。



## ●福島県での活動が始まりました。

「東北復興グリーンウェイブ」の活動が、福島県に展開しました。福島県伊達市にある、霊山（リョウゼン）三育認定こども園さんの園庭の緑の再生活動をサポートします。同園では、原発事故の除染活動の事情で、園庭の樹木をすべて伐採してしまいましたが、震災後5年目を期して、その再生に取り組みます。「東北復興グリーンウェイブ」では、南会津の田島保育園の子どもたちが“どんぐり”を拾って、霊山三育認定こども園に届けてくれました。



### 3) 研修活動、及び体験講座を開催しました。

#### ●防災研修会

日時：2016年5月22日（日）

会場：岩手県山田町「中央公民館」

参加者：山田町、宮古市の保育所、保育園職員、地域住民

講師：（株）タフジャパン 鎌田修広氏



#### ●自然体験講座：「ナツオワキャンプ2016」

日時：2016年8月27日（土）、28日（日）

会場：山梨県富士河口湖町「河口湖自然楽校」

参加者：静岡県「エンゼル幼稚園」園児、職員、保護者

講師：塚原茂（子森ネットインストラクター）



#### ●環境学習研修会

日時：2016年9月24日（土）

会場：東京都「富良野自然塾東京校」

参加者：都内幼稚園、保育園職員

講師：富良野自然塾東京校インストラクター

筑波大学 津村義彦教授



### 4) その他、広報・普及活動

#### ●「みどりとふれあうフェスティバル」に出展しました。

2016年5月14日（土）東京都日比谷公園にて開催された第26回 森と花の祭典「みどりの感謝祭「みどりとふれあうフェスティバル」に出展しました。当日は、JP子どもの森づくり運動のスペシャルサポーターであるチェンソーカービング世界チャンピオン 栗田宏武氏による、森の守り神であるフクロウを作るクイックカービングが行われました。



#### ●「♪どんぐりえがお」ビデオダンスコンテストを開催しました。

「東北復興グリーンウェイブ」の普及活動として、キャンペーンソング「♪どんぐりえがお」のビデオによる全国ダンスコンテストを開催しました。全国より12園の保育園、幼稚園、こども園がエントリーしてくれました。審査の結果、千葉県「今井保育園」さんがグランプリを受賞し、「エコプロ2016」のイベントステージにて結果発表と表彰が行われました。



#### ●エコプロ2016に出展しました。

今年も、下記の内容で国内最大の環境展「エコプロ2016」出展しました。

日時：2016年12月8日（木）～10日（土）

会場：東京ビッグサイト

内容：JPこどもの森づくり運動、及び「東北復興グリーンウェイブ」2016



## 2. 事務局からのお知らせ

## 1) JP子どもの森づくり運動「全国集会&amp;研修会2017」広島大会 参加者募集のお知らせ

JP子どもの森づくり運動の参加園が、年に一度全国から集い、交流を深める「全国集会&研修会2017」が、下記の予定で開催されます。2017年の開催地は広島市です。今回は、地元広島の参加園有志により実行委員会が結成され、皆さんをお迎えする準備に取り組んでいただいています。日程のご調整をお願いします。

## &lt;募集要項&gt;

- ・テーマ：～川のみち広島から子どもの森を考える～
- ・主催：JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2017」広島実行委員会
- ・共催：NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
- ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・日程：2017年2月14日（火）、15日（水）
- ・会場：「BIGFRONTひろしま」（広島駅南口駅前）
- ・講師：広島大学 教授 中越信和氏（株）タフ・ジャパン 代表 鎌田修広氏他
- ・参加費：①15,000円（研修費、宿泊費、保険料、懇親会費含む）  
② 7,000円（日帰り参加費、懇親会費、保険料含む）  
③ 1,000円（日帰り参加費、保険料含む）
- ・参加申し込み：別紙申し込み用紙にてお申込み下さい。
- ・申し込み締め切り日：2017年2月3日（金）



防災講座風景

## 2) ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」のコンテンツが更新されました。

- ・新コンテンツ：「東北復興グリーンウェイブ」福島県での活動紹介
- \* 視聴方法：①「子森チャンネル」での検索 ②ホームページ⇒子森チャンネル&通信 ⇒子森チャンネル

●新・どんぐり博士の育苗講座（2016年12月号）～“どんぐり”の豊作と不作～  
年末を迎えどんぐり採集の季節も終わりました。今年はどんぐり拾いができましたか？どんぐりは豊作でしたか？どんぐりは年により豊作と不作が有るとよく言われます。どうなのでしょう。  
どんぐり博士：河内和男（「子森ネット」森林インストラクター）



作物の豊作・不作といえば、まず考えられるのが天候の影響です。今年は8月から9月にかけての台風の影響と、長雨による日照不足のため野菜の値段が高騰しましたね。では、どんぐりの豊作と不作も天候の影響によるものなのでしょうか？確かに極端な猛暑や花の時期（4月下旬～5月）が長雨だと、実の成が悪くなる事もありますが、天候がどんぐりの豊作と不作の主原因ではないようです。

では、何がその年の豊作と不作を分けるのでしょうか。まず、柿などの果実の場合、なり年（豊作）と裏年（不作）が1年おきに繰り返されることは、ご存じの方も多いでしょう。どんぐりも、豊作と不作を繰り返します。けれどその繰り返し方は、果実よりかなり複雑なようです。

どんぐりの実のなる量の変動を研究した記録を読んだことがあります。それによると、どんぐりには、それなりに実をつける年（平年）と、特別に多くの実をつける年（豊作）、ほとんど実をつけない年（不作）があり、それらが不規則に繰り返すようです。さらに、調査地点ごとの差が大きく、実をつける量の周期性は不明なようです。また、この調査は森単位で行われています。つまり、豊作と不作の年は森全体の木々が同調して、大量に実をつけるか、全く実をつけなくなるということです。木々の間でどんな連絡手段がとられているのでしょうか？不思議ですよ。

数年に一度豊作の年があるのは、動物に食べ尽くされることなく確実に子孫を残すためとも言われていますが、これも推測に過ぎません。どんぐりには沢山の謎と魅力が詰まっているようです。